

協議事項26

市立学校園における新型コロナウイルス感染症対策等について

市立学校園における新型コロナウイルス感染症対策等について、協議事項として以下のとおり提案する。

令和2年9月7日提出

神戸市教育委員会事務局

事務局長 長谷川 達也

夏季における熱中症対策について

平素より、新型コロナウイルス感染症対策や熱中症対策にご尽力いただき、ありがとうございます。

さて、今年度は夏季休業期間を短縮し、保育や授業を行っておりますが、気温の高い日が続くことが今後も予想されており、児童生徒等の健康安全面が心配されます。

つきましては、特に体を動かす活動や体育、部活動をする際には、児童生徒等の健康面に注意をはらい、熱中症による事故が起きないようにご配慮いただきますようお願いいたします。

記

1. 暑さ指数等を参考にした対応

暑さ指数（WBGT）などを参考にし、状況に応じて、体育や部活動の活動時間の短縮・時間変更や中止をすること。（校外学習等の行事や休み時間の遊びをはじめ学校生活全般についても十分に配慮すること）

《暑さ指数を用いた指針》（詳細は「神戸市立学校園熱中症対策ガイドライン」P.5参照）

気温 (参考)	暑さ指数 (WBGT)	日常生活に 関する注意事項	熱中症予防運動指針	
35℃ 以上	31℃ 以上	外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。	運動は原則 中止	特別の場合以外は運動を中止する。 特に子どもの場合には中止すべき。
31～ 35℃	28～ 31℃	外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。	嚴重警戒 (激しい運動は中止)	熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。 10～20分おきに休憩をとり水分・塩分の補給を行う。 暑さに弱い人※は運動を軽減または中止。

※暑さに弱い人：体力の低い人、肥満の人や暑さに慣れていない人など

- 暑さ指数計や温湿度計は、教室や体育館など、子供たちが活動する場所に設置（直射日光が当たる場所や冷暖房器具のそばは避ける）し、活動前や活動中に確認すること。
- 屋外では、帽子や風通しのよい服装を着用するように呼びかけること。また、日傘の使用や中学校では体操服での登下校など、気候に応じて柔軟に対応すること。
- 水分補給を適時呼びかけたり、授業中の給水タイムを積極的に確保したりすること。
- 運動場に日陰確保のためのテント設置や水まきを必要に応じて実施すること。また、ウォーターミストも積極的に活用すること。

【参考】安全な部活動のための研修会「熱中症の安全管理を熱波災害から考える」
(令和2年7月7日動画配信 児童生徒課)

2. エアコンの適切な使用について

気温に応じてエアコンを適切に使用すること。(光熱水費予算は確実に措置予定)

【エアコンを使用する場合の換気対応事例】

1) 換気扇がある場合

教室に設置している換気扇は、十分に室外の空気をドアのガラリ等から吸い込み、室内の空気を換気する機能を備えている。授業中は窓を開けずに換気扇を運転し、休み時間ごとに数分間程度、窓や扉を広く開けて換気を行う。

2) 換気扇は無いが、常時窓と扉を開けることができる場合

教室の全ての窓と扉の開放率が10%程度確保できていれば、30分に1回以上の換気(窓を全開)と同等の状況となる。授業中は、全ての窓と扉を下記例のように少しずつ開け、休み時間ごとに数分間程度、窓や扉を広く開けて換気を行う。

- ・開放率10%程度の例：引き違い窓の場合両側5cm程度、引き違い扉の場合両側10cm程度開ける。

3) 換気扇は無く、窓が無い、または常時窓を開けることが困難な場合

授業中は、常時扉を10cm程度開けて、30分に1回以上、数分間程度、扉を広く開けて換気を行う。

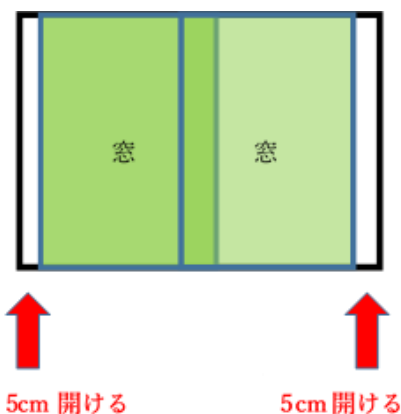
※参考「神戸市立学校園 熱中症対策ガイドライン -令和2年6月1日 改訂版-

P.8【6. 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた熱中症予防より】

- ・可能な限り窓(2方向)の一部を常時開け、さらに、休み時間ごとに窓を広く開け、換気を行う。
- ・常時開けることが困難な場合は、少なくとも30分に1度以上窓を広く開け、換気を行う。

<窓と扉の開度のイメージ>

○引き違い窓の場合



○引き違い扉の場合

